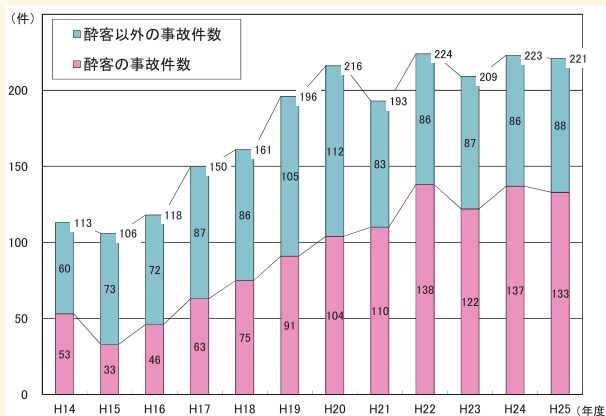
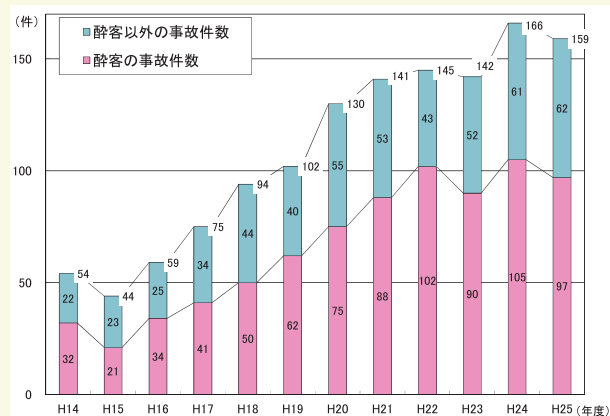


# プラットホーム事故0（ゼロ）運動について

- 鉄道運転事故全体の約5割を占める鉄道人身障害事故のうち、プラットホームから転落又はプラットホーム上での列車等との接触による事故件数は、平成25年度において5割を超えている。近年では、首都圏における酔客の事故が増加傾向となっている。



プラットホームにおける人身障害事故の件数（全国）



※1都3県：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

プラットホームにおける人身障害事故の件数（1都3県※）

- 国土交通省では、プラットホームでの安全対策として、非常停止押しボタン、転落検知マット、プラットホームからの転落を防ぐためのホームドア等の整備を促進している。
- また、鉄道利用者に対して、プラットホーム上での列車との接触などを注意喚起するほか、危険を感じたときには非常停止押しボタンを押してもらうことを目的に、首都圏の鉄道事業者が一体となって、共通ポスターの掲出や駅・車内での注意喚起放送などを行う「プラットホーム事故0（ゼロ）運動」を実施している。



## 【政府ホームページ掲載先】

プラットホーム事故ゼロ運動については、下記ホームページに掲載している。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo08\\_hh\\_000067.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo08_hh_000067.html)